

# 2020年3月期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス  
2020年5月13日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

# 目 次

## <2020年3月期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・ 4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・ 5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・ 6
・事業セグメント別 業績概要	・・・ 7
・非経常項目	・・・ 11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・ 12
・連結財政状態計算書	・・・ 13

## <2021年3月期 通期業績予想>

・業績予想 連結損益計算書	・・・ 15
・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・ 16
・配当の予想	・・・ 17

## <参考資料①>

・関係会社数と海外売上収益及びコア営業利益	・・・ 19
・連結損益計算書 四半期別推移	・・・ 20
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・ 21
・非経常項目 四半期別推移	・・・ 22
・設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数	・・・ 23
・連結業績の推移	・・・ 24
・連結財務指標の推移	・・・ 25
・各報告セグメントの事業部門	・・・ 26

## <参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2019年度 決算概要	・・・ 28
--------------	--------

# 2020年3月期 連結決算

# 連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	108.7	109.2	109.0	111.1	△ 2.1	△2%
ナフサ単価 (¥/kl)	42,800	43,100	42,900	49,400	△ 6,500	△13%

(億円)

	上期	下期	20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減	増減率	
継続事業 *2	売上収益	18,277	17,528	<b>35,805</b>	38,403	<b>△ 2,598</b>	△7%
	コア営業利益 *1	1,308	640	<b>1,948</b>	3,141	<b>△ 1,193</b>	△38%
	非経常項目	△ 2	△ 503	<b>△ 505</b>	△ 193	<b>△ 312</b>	
	営業利益	1,306	137	<b>1,443</b>	2,948	<b>△ 1,505</b>	△51%
	金融収益・費用	△ 82	△ 141	<b>△ 223</b>	△ 100	<b>△ 123</b>	
	(内、受取配当金)	(30)	(12)	(42)	(52)	(△ 10)	
	(内、為替差損益)	(4)	(△ 41)	(△ 37)	(4)	(△ 41)	
	税引前利益	1,224	△ 4	<b>1,220</b>	2,848	<b>△ 1,628</b>	
	法人所得税	△ 376	△ 147	<b>△ 523</b>	△ 705	<b>182</b>	
	継続事業からの当期利益	848	△ 151	<b>697</b>	2,143	<b>△ 1,446</b>	
非継続事業からの当期利益 *3	169	-	<b>169</b>	24	<b>145</b>		
当期利益	1,017	△ 151	<b>866</b>	2,167	<b>△ 1,301</b>		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	813	△ 272	<b>541</b>	1,695	<b>△ 1,154</b>	△68%	
非支配持分に帰属する当期利益	204	121	<b>325</b>	472	<b>△ 147</b>		

\*1 内、持分法投資損益

81	53	<b>134</b>	268	<b>△ 134</b>
----	----	------------	-----	--------------

\*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

\*3 20/3月期の数値には株式交換差益(税引後)158億円を含めております。

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

		20/3月期		20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
		上期	下期			
全社	売上収益	18,277	17,528	35,805	38,403	△ 2,598
	コア営業利益	1,308	640	1,948	3,141	△ 1,193
機能部材	売上収益	3,443	3,307	6,750	7,261	△ 511
	コア営業利益	253	116	369	382	△ 13
機能化学	売上収益	2,046	2,020	4,066	4,294	△ 228
	コア営業利益	152	105	257	331	△ 74
機能商品	売上収益	5,489	5,327	10,816	11,555	△ 739
	コア営業利益	405	221	626	713	△ 87
MMA	売上収益	1,566	1,198	2,764	3,888	△ 1,124
	コア営業利益	253	△ 10	243	944	△ 701
石化	売上収益	2,718	2,626	5,344	6,068	△ 724
	コア営業利益	18	△ 39	△ 21	87	△ 108
炭素	売上収益	1,353	1,110	2,463	2,803	△ 340
	コア営業利益	89	△ 8	81	249	△ 168
ケミカルズ	売上収益	5,637	4,934	10,571	12,759	△ 2,188
	コア営業利益	360	△ 57	303	1,280	△ 977
産業ガス	売上収益	4,195	4,238	8,433	7,328	1,105
	コア営業利益	443	437	880	633	247
ヘルスケア	売上収益	2,053	2,078	4,131	4,626	△ 495
	コア営業利益	98	48	146	538	△ 392
その他	売上収益	903	951	1,854	2,135	△ 281
	コア営業利益	2	△ 9	△ 7	△ 23	16

【受払差】

機能化学	△ 11	0	△ 11	△ 2	△ 9
石化	△ 34	33	△ 1	6	△ 7
炭素	△ 6	△ 10	△ 16	△ 1	△ 15
合計	△ 51	23	△ 28	3	△ 31

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

\*2 ヘルスケアセグメントにおいては、非継続事業に係る数値を控除しております。

\*3 20/3月期より、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直すとともに、一部の共通費用の配分方法を変更しております。

これらに伴い、比較情報としての19/3月期実績を組み替えております。

# コア営業利益 (全社) 増減要因

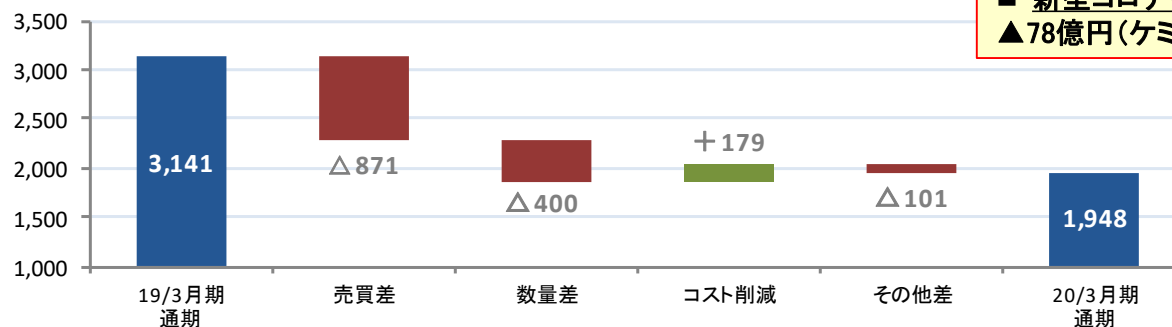
(億円)

	20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減	売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	1,948	3,141	△ 1,193	△ 871	△ 400	179	△ 101
機能商品	626	713	△ 87	△ 26	△ 125	63	1
ケミカルズ	303	1,280	△ 977	△ 808	△ 47	26	△ 148
産業ガス	880	633	247	0	198	12	37
ヘルスケア *2	146	538	△ 392	△ 43	△ 448	78	21
その他	△ 7	△ 23	16	6	22	0	△ 12

\*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

\*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

為替影響	△ 54	△ 68	△ 3	-	17
うち換算差		△ 35			

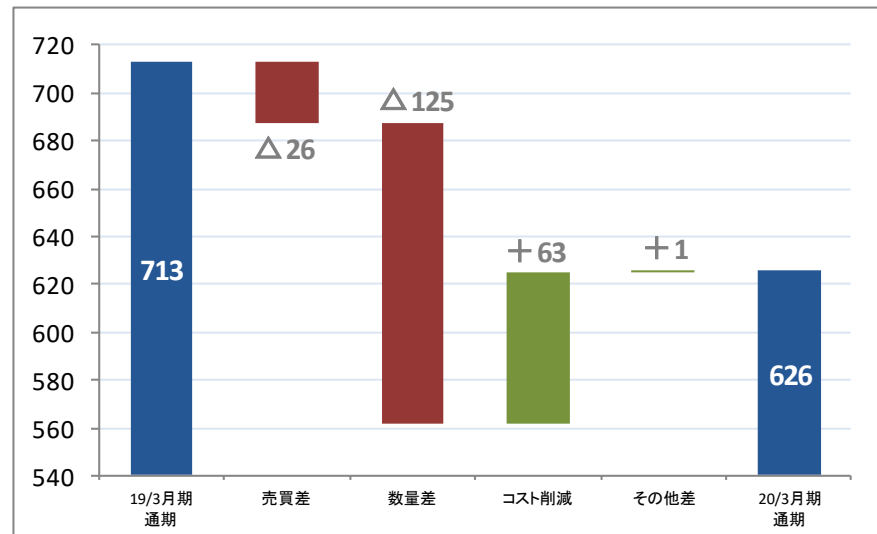


■ 新型コロナウイルス感染症の概算影響  
▲78億円(ケミカルズ▲60 機能商品▲18)

# 機能商品セグメントの業績概要

		(億円)		
		20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
機能部材	売上収益	6,750	7,261	△ 511
	コア営業利益	369	382	△ 13
機能化学	売上収益	4,066	4,294	△ 228
	コア営業利益	257	331	△ 74
機能商品	売上収益	10,816	11,555	△ 739
	コア営業利益	626	713	△ 87

## ＜コア営業利益 増減要因＞



■ 新型コロナウイルス感染症の概算影響  
 ▲18億円(機能部材▲7億円 機能化学▲11億円)

## ＜セグメント内識別 業績概要＞

機能部材	売上収益	環境・生活ソリューションにおいて販売数量が増加したものの、半導体及び自動車用途を中心に需要が低迷し、高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量が減少。
	コア営業利益	環境・生活ソリューションにおいて販売数量が増加したものの、高機能エンジニアリングプラスチック等の減販等により減益。
機能化学	売上収益	フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理の影響が解消したものの、市況下落により減収。
	コア営業利益	フェノール・ポリカーボネートチェーンにおける市況下落の影響等により減益。

## ＜トピックス＞

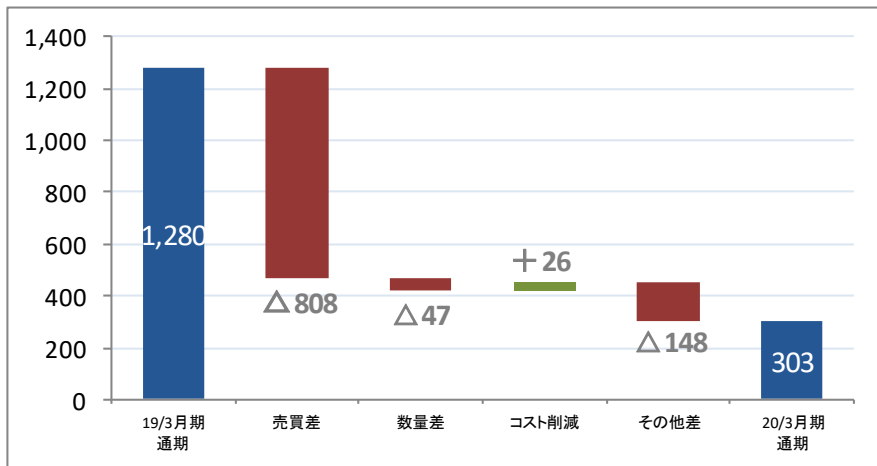
- ノルテックス社は、エチレン・ビニルアルコール共重合樹脂「ソアノール」の生産能力を増強することを2019年4月に決定し、2020年央に稼働予定。(年産3.8万トン→4.1万トンへ増強)
- 三菱ケミカル社は、バーベイタムグループが展開する記録メディア事業及びその他事業、並びに三菱ケミカルメディアが保有するこれら事業に関する資産を台湾のCMC Magnetics Corporationに売却することで、2019年6月に合意し、同12月に売却。
- MCペットフィルムインドネシア社はポリエステルフィルムの生産能力を増強することを2019年9月に決定し、2021年末に完成予定。(年産2.0万トン→4.5万トンへ増強)
- 三菱ケミカル社は、宇部興産社との間で、合弁新社(社名:MUアイオニックソリューションズ社)を2020年10月に設立することについて2020年3月に合意。

# ケミカルズセグメントの業績概要

(億円)

		20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
MMA	売上収益	2,764	3,888	△ 1,124
	コア営業利益	243	944	△ 701
石化	売上収益	5,344	6,068	△ 724
	コア営業利益	△ 21	87	△ 108
炭素	売上収益	2,463	2,803	△ 340
	コア営業利益	81	249	△ 168
ケミカルズ	売上収益	10,571	12,759	△ 2,188
	コア営業利益	303	1,280	△ 977

## ＜コア営業利益 増減要因＞



### ■ 新型コロナウイルス感染症の概算影響

▲60億円 (MMA ▲29億円 石化 ▲22億円 炭素 ▲9億円)

## ＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	需要が弱含んで推移し、市況が下落したことにより減収。
	コア営業利益	市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小等により減益。
石化	売上収益	エチレンセンターの定期修理の影響が縮小し販売数量が増加したものの、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下。
	コア営業利益	エチレンセンターの定期修理の影響が縮小したものの、市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小や受払差の悪化等により減益。
炭素	売上収益	原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びニードルコークスの販売数量減少等により減収。
	コア営業利益	輸出コークスの市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小及びニードルコークスの販売数量減少等により減益。

## ＜トピックス＞

- 日本ポリプロ社は、収益力の強化に向けた構造改革の一環として、ポリプロピレン製造設備について、五井工場(千葉県市原市)における1系列の建設と同時に、鹿島工場(茨城県神栖市)における1系列の停止を2019年7月に決定し、2020年4月に停止。
- 三菱ケミカル社は、茨城県鹿島地区における石油精製事業及び石油化学事業の更なる連携強化に向けて、JXTGエネルギー社との共同出資による有限責任事業組合を2019年11月に設立。



# 産業ガスセグメントの業績概要

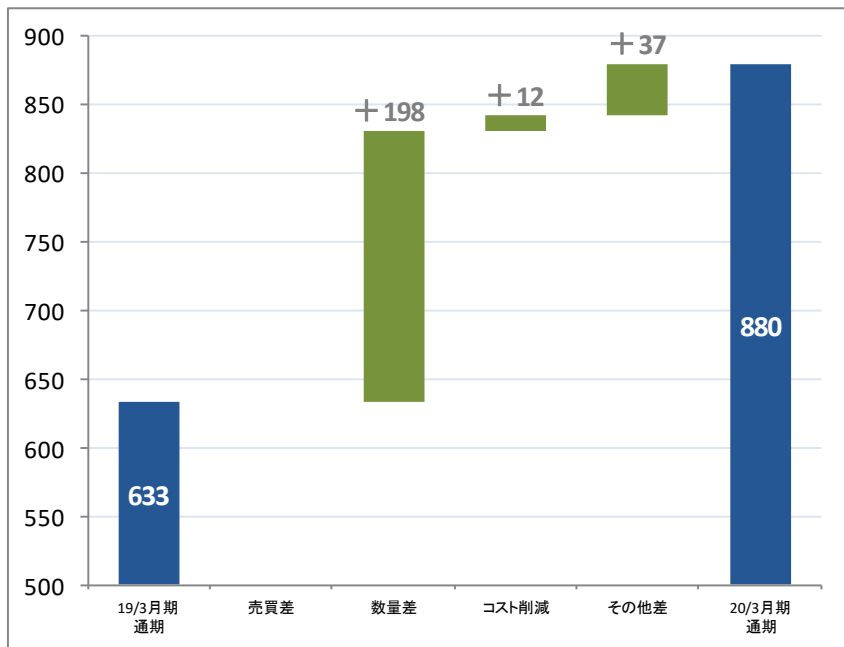
(億円)

		20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
産業ガス	売上収益	8,433	7,328	1,105
	コア営業利益	880	633	247

## ＜セグメント内識別 業績概要＞

産業 ガス	売上収益	前年下期に実施した欧州及び米国事業買収効果により増収。
	コア 営業利益	欧州及び米国事業買収効果に加え、米国ガス事業が堅調に推移したことにより増益。

## ＜コア営業利益 増減要因＞



## ＜トピックス＞

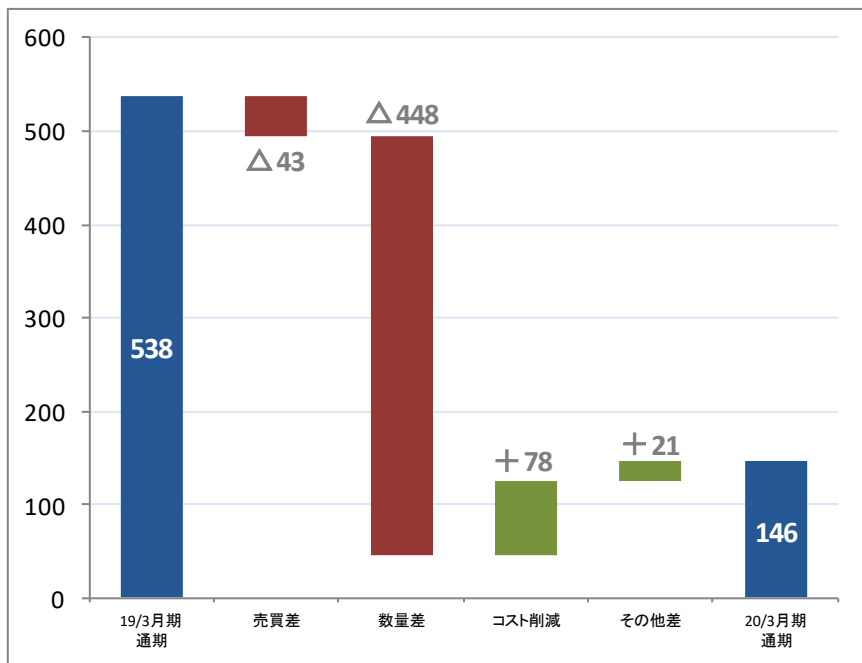
- 大陽日酸社は、グローバルガスメジャーとして競争力のあるグループ運営体制を構築するため、2020年10月1日(予定)を効力発生日とする会社分割(吸収分割)方式により持株会社体制へ移行すること及び、持株会社の商号を「日本酸素ホールディングス社」とすることを2020年1月に決定。2020年6月開催予定の同社定時株主総会による承認及び所管官公庁の許認可の取得を条件とする。

# ヘルスケアセグメントの業績概要

		(億円)		
		20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
ヘルスケア	売上収益	4,131	4,626	△ 495
	コア営業利益	146	538	△ 392

\*LSIメディエンスについては非継続事業に分類し、上記数値より控除しております。

## <コア営業利益 増減要因>



## <セグメント内識別 業績概要>

ヘルスケア	売上収益	医薬品において、国内重点品目が伸長したものの、ジレニア仲裁によって一部ロイヤリティ収入につき収益認識を行わないことにより減収。
	コア営業利益	ジレニアロイヤリティ収入の一部収益認識を行わないこと等により減益。

注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

## <トピックス>

- 生命科学インスティテュート社は、国内外でヘルスケア関連事業を展開するPHCホールディングス社との間で、2019年8月に株式交換を実施。同社が保有していたLSIメディエンス社の全株式との交換によりPHCホールディングス社の株式の一部(13.7%)を取得。
- 生命科学インスティテュート社は、2019年7月に脊髄損傷を対象としたMuse細胞製品「CL2020」の臨床試験を開始。また、細胞加工施設である殿町CPC(神奈川県川崎市)において同年7月に再生医療等製品製造業許可を取得。2020年度に製造販売承認申請を行う予定。
- 田辺三菱製薬社は、エダラボン(一般名)(米国製品名:「ラジカヴァ®」)の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の適応症について、日本・韓国・米国・カナダ・スイスに次ぎ、2019年7月に中国の国家薬品监督管理局(NMPA)より承認を取得。
- 当社は、田辺三菱製薬社の普通株式に対する公開買付けを実施し、2020年3月に完全子会社化。
- 当社は、クオリカプス社を、製造技術の強化、素材開発の促進及び営業力の強化を目的として、2020年7月に三菱ケミカル社の高機能化学部門へ移管することを2020年3月に決定。

# 非経常項目

(億円)

	4Q	20/3月期 通期	19/3月期 通期	増減
<b>非経常項目 合計</b>	△ 301	<b>△ 505</b>	△ 193	△ 312
減損損失	△ 245	<b>△ 439</b>	△ 118	△ 321
固定資産除売却損	△ 65	<b>△ 99</b>	△ 85	△ 14
特別退職金	△ 9	<b>△ 20</b>	△ 9	△ 11
関係会社株式売却損	△ 0	<b>△ 15</b>	△ 0	△ 15
固定資産売却益	35	<b>79</b>	25	54
減損損失戻入益	-	<b>17</b>	-	17
関係会社株式売却益	-	<b>5</b>	75	△ 70
その他	△ 17	<b>△ 33</b>	△ 81	48

【セグメント別内訳】

機能商品	△ 2	△ 19	△ 134	115
ケミカルズ	△ 11	△ 24	48	△ 72
産業ガス	0	21	2	19
ヘルスケア	△ 252	△ 415	△ 55	△ 360
その他	△ 36	△ 68	△ 54	△ 14

# 連結キャッシュ・フロー計算書

	財務諸表ベース	
	20/3月期 通期	19/3月期 通期
<b>営業活動によるCF</b>	4,520	4,156
税前損益	1,476	2,881
減価償却費	2,398	1,993
営業債権債務	427	51
棚卸資産	71	△ 132
その他	148	△ 637
<b>投資活動によるCF</b>	△ 876	△ 8,951
設備投資	△ 2,361	△ 2,306
資産売却	303	418
投融資 他	1,182	△ 7,063
<b>FCF</b>	<b>3,644</b>	<b>△ 4,795</b>
<b>財務活動によるCF</b>	△ 4,505	5,191
有利子負債	373	6,296
子会社株式追加取得	*2 △ 3,998	△ 14
配当 他	△ 880	△ 1,091
<b>現金及び現金同等物の増減</b>	<b>△ 861</b>	<b>396</b>
為替換算差等	△ 72	43
<b>現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>3,215</b>	<b>2,776</b>
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>2,282</b>	<b>3,215</b>

*1 実質ベース		(億円)	<参考>
20/3月期 通期	19/3月期 通期		
<b>4,520</b>	4,156		4,640
<b>1,476</b>	2,881		2,780
<b>2,398</b>	1,993		2,390
<b>427</b>	51		50
<b>71</b>	△ 132		
<b>148</b>	△ 637		△ 580
<b>△ 2,057</b>	△ 8,975		△ 2,740
<b>△ 2,361</b>	△ 2,306		△ 2,980
<b>303</b>	418		240
<b>1</b>	△ 7,087		
<b>2,463</b>	<b>△ 4,819</b>		<b>1,900</b>

\*1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

\*2 田辺三菱製薬株式の追加取得△3,981億円

# 連結財政状態計算書

	(億円)		
	20/3月末	19/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,282	3,215	△ 933
営業債権	6,985	8,551	△ 1,566
棚卸資産	6,065	6,230	△ 165
その他	2,161	3,422	△ 1,261
<b>流動資産合計</b>	<b>17,493</b>	<b>21,418</b>	<b>△ 3,925</b>
固定資産	22,528	22,521	7
のれん	6,168	6,488	△ 320
投融資等	5,132	5,298	△ 166
<b>非流動資産合計</b>	<b>33,828</b>	<b>34,307</b>	<b>△ 479</b>
<b>資産合計</b>	<b>51,321</b>	<b>55,725</b>	<b>△ 4,404</b>

	(億円)		
	20/3月末	19/3月末	増減
有利子負債	23,881	22,468	1,413
営業債務	3,981	4,924	△ 943
その他	8,951	8,074	877
<b>負債合計</b>	<b>36,813</b>	<b>35,466</b>	<b>1,347</b>
資本金・剰余金等	12,345	13,818	△ 1,473
その他の資本の構成要素	△ 643	△ 38	△ 605
親会社の所有者に帰属する持分	<b>11,702</b>	<b>13,780</b>	<b>△ 2,078</b>
非支配持分	2,806	6,479	△ 3,673
<b>資本合計</b>	<b>14,508</b>	<b>20,259</b>	<b>△ 5,751</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>51,321</b>	<b>55,725</b>	<b>△ 4,404</b>

ネット有利子負債 *1	20,899	17,362	3,537
ネットD/Eレシオ	1.79	1.26	0.53
親会社所有者帰属持分比率	22.8%	24.7%	△1.9%
ROE *2	4.2%	12.7%	△8.5%

\*1 ネット有利子負債(20/3月末)

=有利子負債23,881億円-(現金・現金同等物2,282億円+手元運用資金残高700億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

\*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

# 2021年3月期 通期業績予想

# 業績予想 連結損益計算書

## ■ 2021年3月期業績予想の算出前提

新型コロナウイルス感染症の影響(原燃料価格の下落影響を含む)を上期を中心に織込み。  
コア営業利益への通期影響額を約▲800億円と推計。

					(億円)		
		上期	下期	21/3月期 予想	20/3月期 実績	増減	増減率
継続事業 *1	売上収益	15,090	18,250	<b>33,340</b>	35,805	<b>△ 2,465</b>	△7%
	コア営業利益	250	1,150	<b>1,400</b>	1,948	<b>△ 548</b>	△28%
	非経常項目	35	△ 65	<b>△ 30</b>	△ 505	<b>475</b>	
	営業利益	285	1,085	<b>1,370</b>	1,443	<b>△ 73</b>	△5%
	金融収益・費用	△ 105	△ 125	<b>△ 230</b>	△ 223	<b>△ 7</b>	
	税引前利益	180	960	<b>1,140</b>	1,220	<b>△ 80</b>	
	法人所得税	△ 70	△ 300	<b>△ 370</b>	△ 523	<b>153</b>	
	継続事業からの当期利益	110	660	<b>770</b>	697	<b>73</b>	
非継続事業からの当期利益		0	0	<b>0</b>	169	<b>△ 169</b>	
<b>当期利益</b>		110	660	<b>770</b>	866	<b>△ 96</b>	
	親会社の所有者に帰属する 当期利益	0	490	<b>490</b>	541	<b>△ 51</b>	△9%
	非支配持分に帰属する当期利益	110	170	<b>280</b>	325	<b>△ 45</b>	

\*1 非継続事業に係る数値を控除しております。

# 業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

新型コロナウイルス感染症の概算影響  
(コア営業利益)

		上期	下期	21/3月期 予想	20/3月期 実績 *2	増減	新型コロナウイルス感染症の概算影響 (コア営業利益)		20/3月期 組替前
							21/3月期 予想	20/3月期 実績	
全社	売上収益	15,090	18,250	33,340	35,805	△ 2,465	↓上△699,下△86(炭△40,ヘルスケア△46)	35,805	
	コア営業利益	250	1,150	1,400	1,948	△ 548	△ 785	△ 78	1,948
機能部材	売上収益	2,900	3,580	6,480	6,804	△ 324	↓自動車・建設・情電(FPD)向減販他	6,750	
	コア営業利益	80	290	370	395	△ 25	△ 168	△ 7	369
機能化学	売上収益	1,870	2,250	4,120	4,377	△ 257	↓自動車向け減販・PC受払差	4,066	
	コア営業利益	△ 10	150	140	217	△ 77	△ 128	△ 11	257
機能商品	売上収益	4,770	5,830	10,600	11,181	△ 581		10,816	
	コア営業利益	70	440	510	612	△ 102	△ 296	△ 18	626
MMA	売上収益	1,110	1,360	2,470	2,625	△ 155	↓アジアを中心に減販他	2,764	
	コア営業利益	60	200	260	238	22	△ 99	△ 29	243
石化	売上収益	1,610	2,880	4,490	5,344	△ 854	↓原料価格下落に伴う受払差、減販他	5,344	
	コア営業利益	△ 190	60	△ 130	△ 21	△ 109	△ 159	△ 22	△ 21
炭素	売上収益	950	970	1,920	2,466	△ 546	↓コークス・炭素材減販他	2,463	
	コア営業利益	10	20	30	81	△ 51	△ 79	△ 9	81
ケミカルズ	売上収益	3,670	5,210	8,880	10,435	△ 1,555		10,571	
	コア営業利益	△ 120	280	160	298	△ 138	△ 337	△ 60	303
産業ガス	売上収益	3,960	4,260	8,220	8,433	△ 213	↓産業ガス減販他	8,433	
	コア営業利益	340	460	800	880	△ 80	△ 106		880
ヘルスケア	売上収益	1,860	2,010	3,870	3,931	△ 61	↓活動低下も患者数減少	4,131	
	コア営業利益	10	△ 20	△ 10	165	△ 175	△ 46		146
その他	売上収益	830	940	1,770	1,825	△ 55		1,854	
	コア営業利益	△ 50	△ 10	△ 60	△ 7	△ 53	0		△ 7

\*2 21/3月期において、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(機能化学)へ変更しております。また、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これらに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。



## 配当の予想

当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としており、配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、中期的な利益水準の30%を連結配当性向の目安とし、安定的に配当を実施することとしております。

20/3月期の1株当り期末配当金予想額は、2020年4月28日発表の通り12円であり、5月26日の取締役会において決議予定です。

また21/3月期の配当予想につきましては、コロナ禍の収束時期が見通せず、厳しい状況が当面続くと見込まれることから、第2四半期末及び期末の1株当り配当金を、20/3月期の期末配当と同額の12円といたします。これにより、21/3月期における1株当り年間配当予想は24円となります。

		21/3月期 予想	20/3月期 予想	19/3月期	18/3月期	17/3月期
1株当り配当金	第2四半期末	12円	20円	20円	15円	8円
	期末	12円	12円	20円	17円	12円
	合計	24円	32円	40円	32円	20円
1株当り当期利益	期末	34円51銭	38円08銭	119円22銭	147円14銭	106円73銭
配当性向(連結)	合計	69.6%	84.0%	33.6%	21.7%	18.7%

# 参考資料①

# 関係会社数と海外売上収益及びコア営業利益

(会社数)

関係会社数	20/3月期	19/3月期	18/3月期	17/3月期	16/3月期
関係会社合計	698	754	708	731	753
連結会社合計	659	705	653	592	600
連結子会社	510	550	515	510	522
国内	174	193	203	193	200
海外	336	357	312	317	322
ジョイント・オペレーション	4	4	4	4	2
持分法適用会社	145	151	134	78	76

## 所在地別

国内	23,678	25,956	25,896	24,086	24,990
海外	12,127	12,447	11,348	9,675	10,444
売上収益	35,805	38,403	37,244	33,761	35,434
国内	995	1,623	2,232	2,115	2,324
海外	953	1,518	1,573	960	680
コア営業利益	1,948	3,141	3,805	3,075	3,004

## 向先別

海外売上収益	15,344 42.9%	16,646 43.3%	15,470 41.6%	13,336 39.5%	14,300 40.4%
--------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

# 連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)	109.5	111.9	112.6	110.3	109.7	107.7	109.3	109.1
ナフサ単価 (¥/kl)	48,700	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300	44,800

(億円)

	19/3月期				20/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>売上収益</b>	9,218	9,601	9,885	9,699	9,164	9,113	9,031	8,497
<b>コア営業利益 *1</b>	923	949	776	493	701	607	502	138
非経常項目	8	△ 24	49	△ 226	△ 2	0	△ 202	△ 301
<b>営業利益</b>	931	925	825	267	699	607	300	△ 163
金融収益・費用	9	△ 35	△ 23	△ 51	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64
(内、受取配当金)	(34)	(3)	(13)	(2)	(29)	(1)	(11)	(1)
(内、為替差損益)	(8)	(0)	(1)	(△ 5)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)
<b>税引前利益</b>	940	890	802	216	666	558	223	△ 227
法人所得税	△ 222	△ 147	△ 216	△ 120	△ 182	△ 194	△ 157	10
<b>継続事業からの当期利益</b>	718	743	586	96	484	364	66	△ 217
非継続事業からの当期利益	4	4	9	7	5	164	-	-
<b>当期利益</b>	722	747	595	103	489	528	66	△ 217
<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>	581	621	458	35	378	435	△ 50	△ 222
非支配持分に帰属する当期利益	141	126	137	68	111	93	116	5
	86	76	54	52	50	31	26	27

\*1 内、持分法投資損益

\*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

# 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

		19/3月期				20/3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全社	売上収益	9,218	9,601	9,885	9,699	9,164	9,113	9,031	8,497
	コア営業利益	923	949	776	493	701	607	502	138
機能部材	売上収益	1,791	1,805	1,845	1,820	1,702	1,741	1,710	1,597
	コア営業利益	139	98	116	29	120	133	83	33
機能化学	売上収益	1,070	1,090	1,097	1,037	1,024	1,022	1,012	1,008
	コア営業利益	106	114	60	51	75	77	56	49
機能商品	売上収益	2,861	2,895	2,942	2,857	2,726	2,763	2,722	2,605
	コア営業利益	245	212	176	80	195	210	139	82
MMA	売上収益	1,083	1,106	889	810	810	756	629	569
	コア営業利益	310	325	163	146	138	115	7	△ 17
石化	売上収益	1,343	1,585	1,670	1,470	1,347	1,371	1,373	1,253
	コア営業利益	△ 5	77	29	△ 14	8	10	10	△ 49
炭素	売上収益	725	647	706	725	716	637	621	489
	コア営業利益	57	56	66	70	60	29	10	△ 18
ケミカルズ	売上収益	3,151	3,338	3,265	3,005	2,873	2,764	2,623	2,311
	コア営業利益	362	458	258	202	206	154	27	△ 84
産業ガス	売上収益	1,568	1,689	1,867	2,204	2,086	2,109	2,088	2,150
	コア営業利益	133	136	152	212	211	232	222	215
ヘルスケア	売上収益	1,154	1,139	1,311	1,022	1,079	974	1,166	912
	コア営業利益	196	147	201	△ 6	93	5	110	△ 62
その他	売上収益	484	540	500	611	400	503	432	519
	コア営業利益	△ 13	△ 4	△ 11	5	△ 4	6	4	△ 13

\*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

\*2 ヘルスケアセグメントにおいては、非継続事業に係る数値を控除しております。

\*3 20/3月期より、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直すとともに、一部の共通費用の配分方法を変更しております。

これらに伴い、比較情報としての19/3月期実績を組み替えております。

# 非経常項目 四半期別推移

(億円)

	19/3月期				20/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>非経常項目 合計</b>	8	△ 24	49	△ 226	△ 2	0	△ 202	△ 301
減損損失	△ 8	△ 1	△ 16	△ 93	△ 7	△ 7	△ 180	△ 245
固定資産除売却損	△ 8	△ 18	△ 4	△ 55	△ 6	△ 5	△ 23	△ 65
特別退職金	△ 2	△ 0	△ 0	△ 7	△ 0	△ 10	△ 1	△ 9
関係会社株式売却損	-	△ 0	-	-	-	△ 1	△ 14	△ 0
固定資産売却益	22	2	0	1	9	10	25	35
減損損失戻入益	-	-	-	-	-	17	-	-
関係会社株式売却益	-	-	73	2	4	1	-	-
その他	4	△ 7	△ 4	△ 74	△ 2	△ 5	△ 9	△ 17

## 【セグメント別内訳】

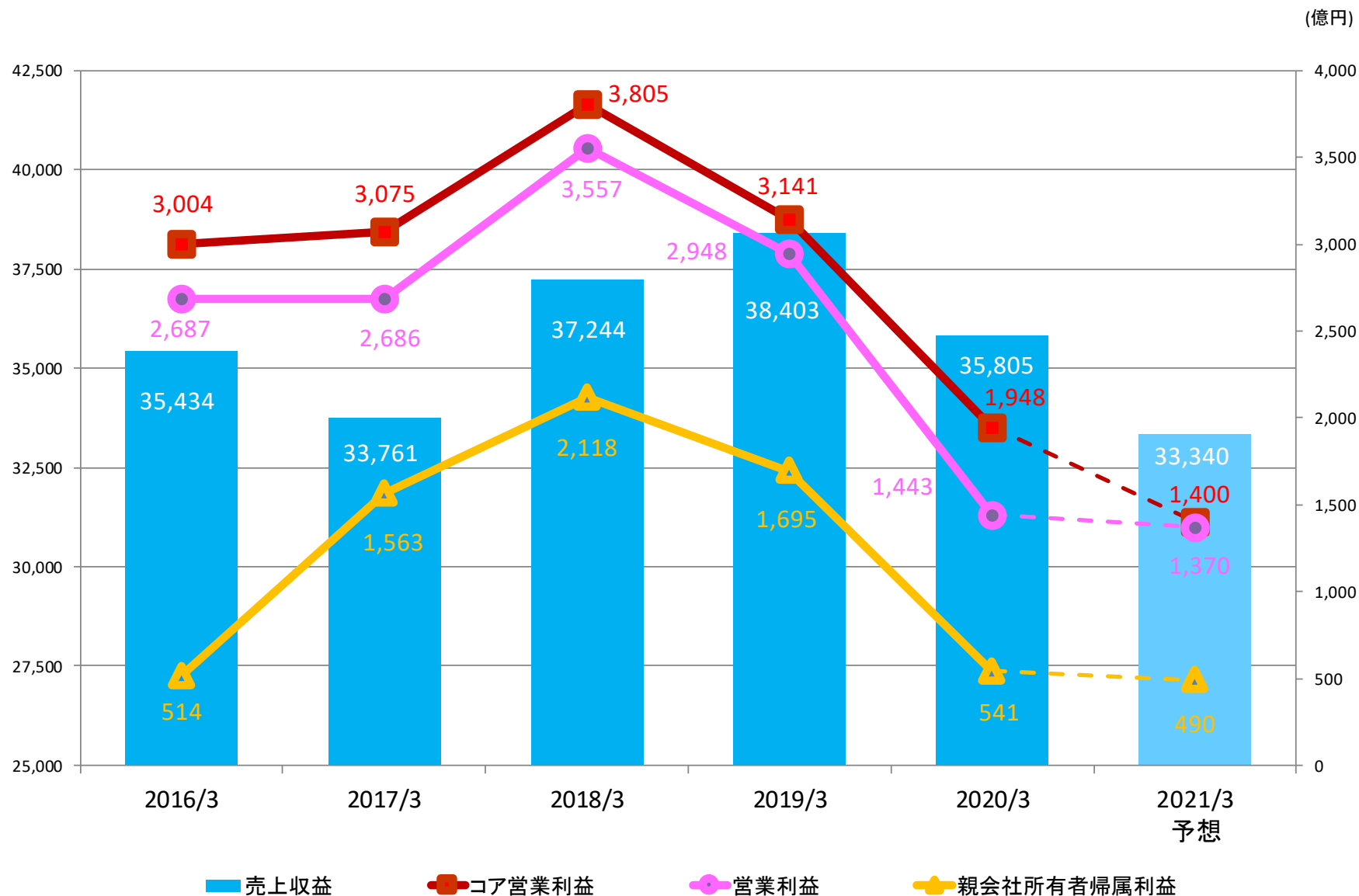
機能商品	△ 7	△ 4	△ 20	△ 103	2	△ 4	△ 15	△ 2
ケミカルズ	△ 1	△ 6	63	△ 8	0	△ 11	△ 2	△ 11
産業ガス	3	△ 0	-	△ 1	△ 6	10	17	0
ヘルスケア	-	-	10	△ 65	△ 0	8	△ 171	△ 252
その他	13	△ 14	△ 4	△ 49	2	△ 3	△ 31	△ 36

# 設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数

	設備投資		減価償却費		研究開発費		従業員数
	20/3月期 実績	19/3月期 実績	20/3月期 実績 *1	19/3月期 実績	20/3月期 実績	19/3月期 実績	20/3月期 期末
機能商品	763	648	567	549	250	296	23,713
ケミカルズ	576	710	648	604	100	101	8,245
産業ガス	748	720	862	585	34	35	19,719
ヘルスケア	242	180	205	163	830	896	8,800
その他	75	59	104	60	120	100	9,132
全社	2,404	2,317	2,386	1,961	1,334	1,428	69,609

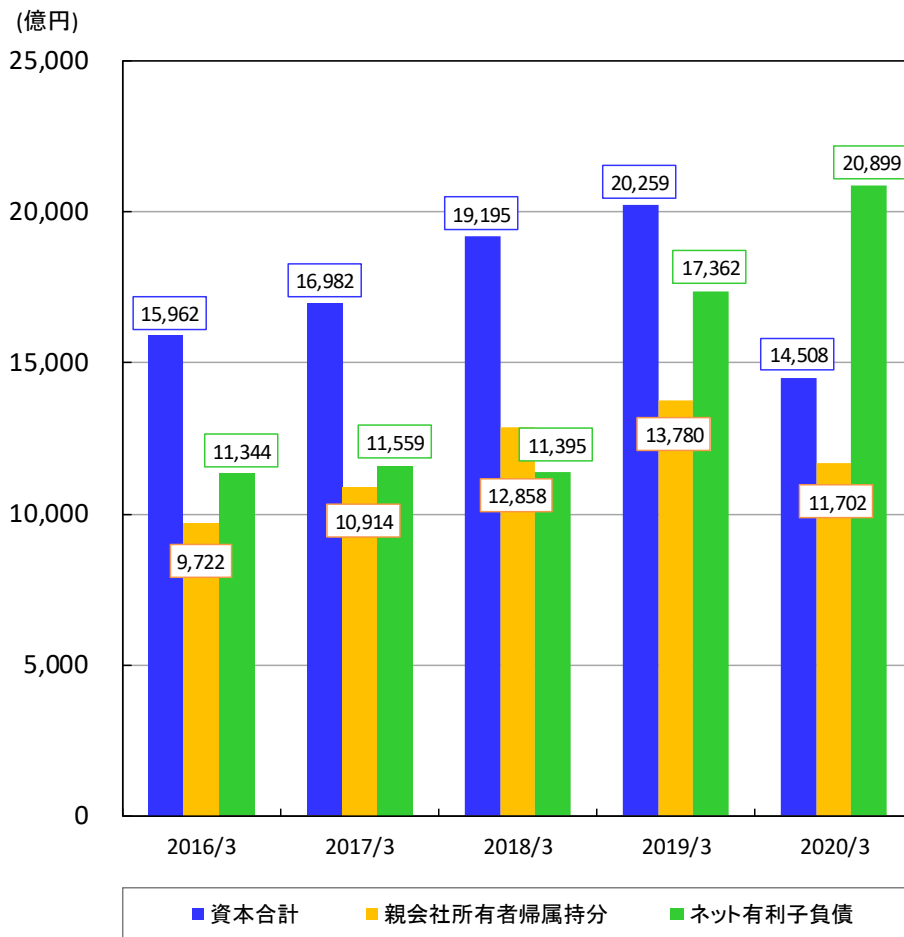
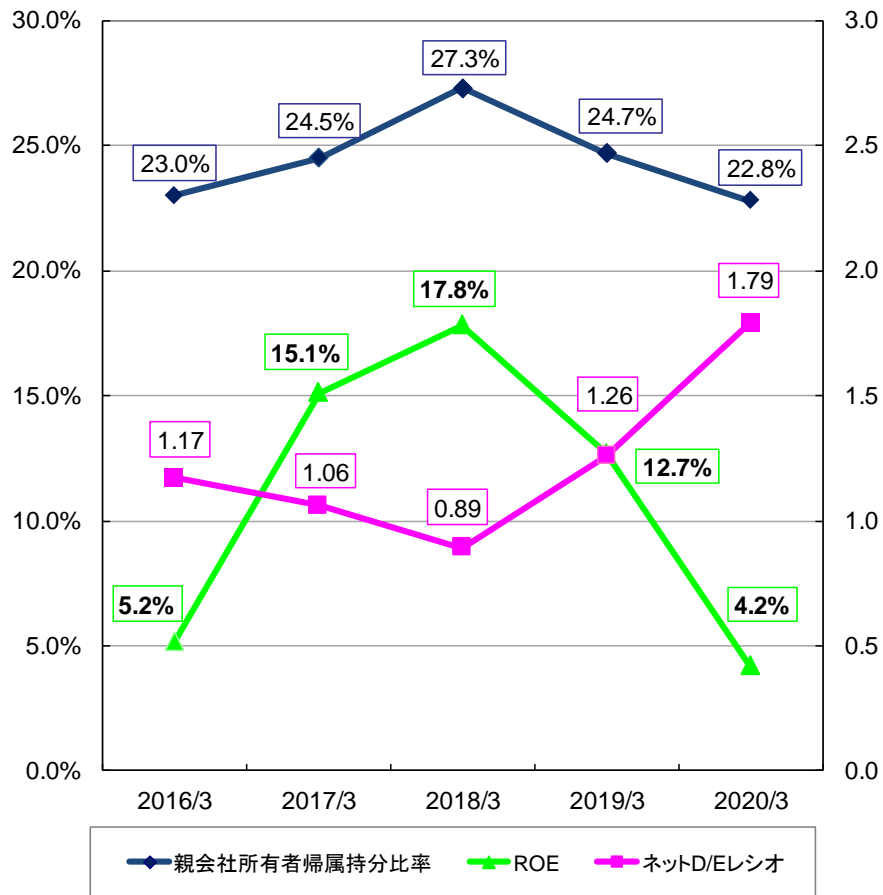
\*1 減価償却費の20/3月期実績には、IFRS第16号リースの適用により新たに生じた償却費を含めております。

# 連結業績の推移





# 連結財務指標の推移



# 各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳		
		事業内容		
機能商品	機能商品	機能部材	情電・ディスプレイ	光学フィルム、情報電子、アセチル
			高機能フィルム	包装フィルム、工業フィルム
			環境・生活ソリューション	アクア・分離ソリューション、インフラ・アグリマテリアルズ
			高機能成形材料	高機能エンジニアリングプラスチック、繊維、炭素繊維複合材料、機能成形複合材、アルミナ繊維・軽金属
		機能化学	高機能ポリマー	パフォーマンスポリマーズ、エンジニアリングポリマーズ、サステイナブルリソース
			高機能化学	機能化学品、機能材料、食品機能材
			新エネルギー	リチウムイオン電池材料、エネルギー変換部材
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

# 参考資料②

## (田辺三菱製薬 決算概要)

**田辺三菱製薬株式会社**



田辺三菱製薬

# **2019年度 決算概要**

**(2019年4月1日～2020年3月31日)**

**2020年5月13日**

# 2019年度決算概要

	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	3,798	4,247	△ 449	△ 10.6	3,760	101.0
（国内売上収益）	3,139	3,077	+ 62	+ 2.0	3,083	101.8
（海外売上収益）	658	1,170	△ 512	△ 43.7	676	97.3
海外売上比率	17.3%	27.6%			18.0%	
売上原価	1,810	1,806	+ 3	+ 0.2	1,785	101.4
売上原価率	47.7%	42.5%			47.5%	
売上総利益	1,988	2,441	△ 453	△ 18.6	1,975	100.7
販管費	975	982	△ 6	△ 0.7	990	98.6
研究開発費	794	865	△ 70	△ 8.2	855	92.9
製品に係る無形資産償却費	24	29	△ 4	△ 15.1	25	99.6
その他損益*	△ 2	△ 5	+ 3	-	△ 5	-
コア営業利益	190	558	△ 367	△ 65.9	100	190.6
非経常項目*	△ 251	△ 55	△ 196	-	15	-
営業利益*	△ 60	503	△ 563	△ 112.1	115	△ 52.8
金融損益*	△ 4	1	△ 5	-		
当期利益（親会社帰属）	1	373	△ 372	△ 99.6	50	2.9
期中平均レート（米ドル）	108.95円	111.07円			110.00円	

\*費用・損失の場合に△と表示

※2019年5月10日公表

	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	3,798	4,247	△ 449	△ 10.6	3,760	101.0
国内医療用医薬品	3,043	2,987	+ 55	+ 1.9	2,981	102.1
海外医療用医薬品	497	551	△ 53	△ 9.8	496	100.1
(内、ラジカヴァ)	231	270	△ 39	△ 14.5	220	105.0
ロイヤリティ収入等	174	631	△ 456	△ 72.4	192	90.5
一般用医薬品	38	37	+ 1	+ 2.9	43	89.8
その他	44	39	+ 4	+ 11.1	46	95.6

※2019年5月10日公表

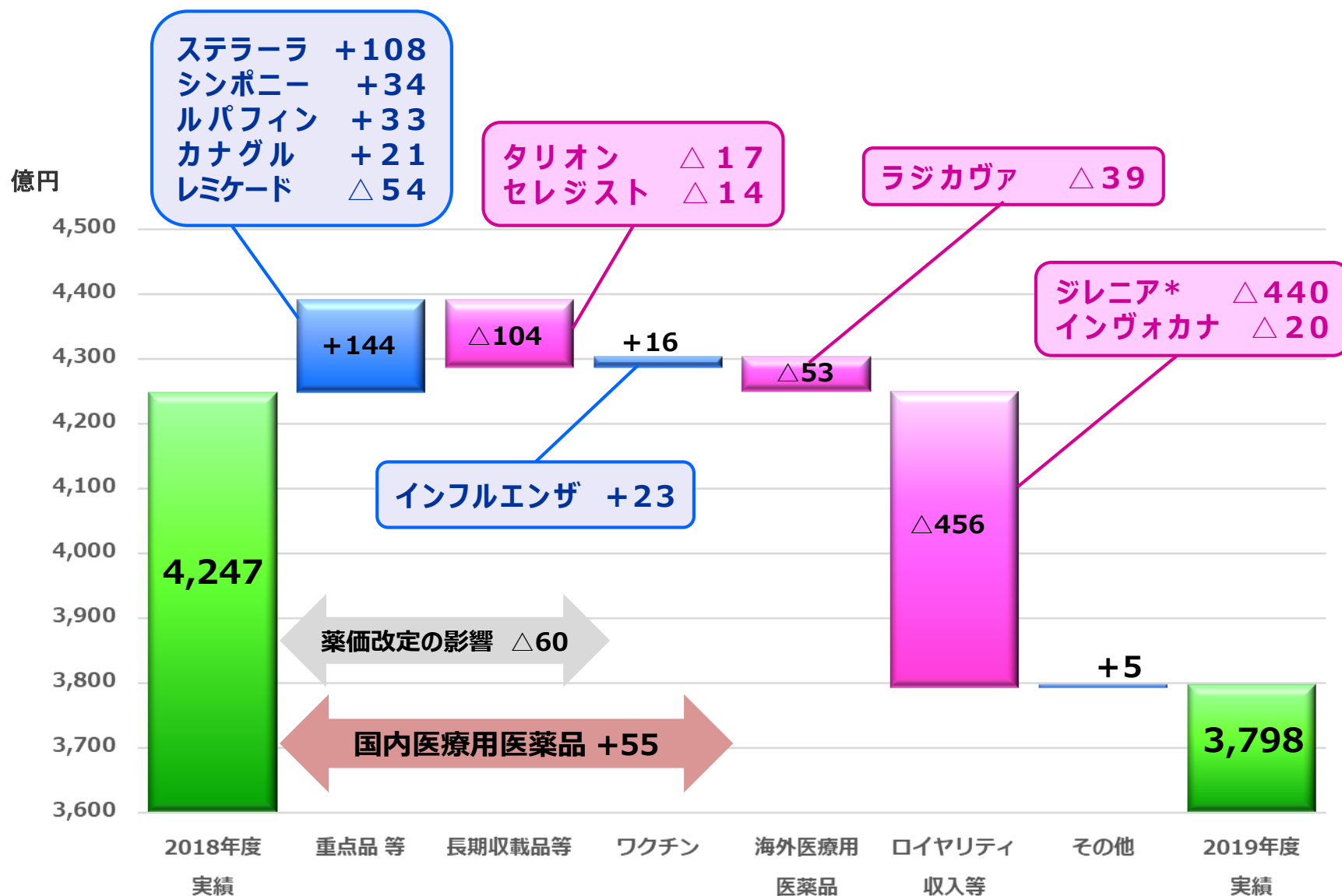
国内医療用医薬品 重点品売上収益



	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	533	588	△ 54	△ 9.3	515	103.5
シンポニー	409	374	+ 34	+ 9.2	422	97.0
ステラーラ	260	152	+ 108	+ 71.0	216	120.1
テネリア	152	152	+ 0	+ 0.1	150	101.0
カナグル	88	67	+ 21	+ 31.1	104	84.9
カナリア	67	74	△ 6	△ 9.2	72	93.4
レクサプロ	149	140	+ 9	+ 6.7	147	101.1
ルパフィン	67	34	+ 33	+ 96.9	75	90.1
イムセラ	42	43	△ 0	△ 2.3	42	99.4
重点品合計	1,771	1,626	+ 144	+ 8.9	1,747	101.4
インフルエンザワクチン	126	102	+ 23	+ 23.1	107	117.2
テトラビック	94	85	+ 9	+ 10.8	100	94.4
ミールビック	59	68	△ 9	△ 13.6	48	123.2
ジェービックV	51	55	△ 3	△ 6.4	45	112.4
水痘ワクチン	49	51	△ 1	△ 3.5	51	94.9
ワクチン合計	389	373	+ 16	+ 4.5	362	107.6
重点品・ワクチン合計	2,160	2,000	+ 160	+ 8.0	2,109	102.4

※2019年5月10日公表

# 売上収益の増減



\* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む



## 2020年度業績予想

	2020年度	2019年度	増減	
	予想※	実績	億円	%
売上収益	3,835	3,798	+ 36	+ 1.0
（国内売上収益）	3,141	3,139	+ 1	+ 0.0
（海外売上収益）	694	658	+ 35	+ 5.4
海外売上比率	18.1%	17.3%		
売上原価	1,875	1,810	+ 64	+ 3.6
売上原価率	48.9%	47.7%		
売上総利益	1,960	1,988	△ 28	△ 1.4
販管費	995	975	+ 19	+ 2.0
研究開発費	835	794	+ 40	+ 5.1
製品に係る無形資産償却費	30	24	+ 5	+ 20.4
その他損益*	-	△ 2	+ 2	-
コア営業利益	100	190	△ 90	△ 47.5
非経常項目*	70	△ 251	+ 321	-
営業利益*	170	△ 60	+ 230	-
金融損益*	5	△ 4	+ 9	-
当期利益（親会社帰属）	85	1	+ 83	-
期中平均レート（米ドル）	108.00円	108.95円		

\*費用・損失の場合に△と表示

※新型コロナウイルス感染症の影響を含まない

	2020年度 予想	2019年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	3,035	3,043	△ 8	△ 0.3
重点品	1,823	1,771	+ 52	+ 2.9
ワクチン	409	389	+ 19	+ 5.1
長期収載品等	802	882	△ 80	△ 9.1
海外医療用医薬品	509	497	+ 11	+ 2.4
ラジカヴァ	223	231	△ 7	△ 3.3
ロイヤリティ収入等	198	174	+ 24	+ 14.1

## 国内医療用医薬品 重点品売上収益予想

	2020年度	2019年度	増減	
	予想	実績		
	億円	億円	億円	%
レミケード	447	533	△ 85	△ 16.1
シンポニー	422	409	+ 13	+ 3.2
ステラーラ	328	260	+ 68	+ 26.2
テネリア	149	152	△ 2	△ 1.9
カナグル	91	88	+ 3	+ 3.4
カナリア	93	67	+ 25	+ 38.4
レクサプロ	146	149	△ 3	△ 2.1
ルパフィン	102	67	+ 34	+ 51.3
イムセラ	41	42	△ 0	△ 2.3
重点品合計	1,823	1,771	+ 52	+ 2.9
インフルエンザワクチン	122	126	△ 3	△ 3.1
テトラビック	112	94	+ 17	+ 18.7
ミールビック	64	59	+ 4	+ 8.3
ジェービックV	53	51	+ 1	+ 3.4
水痘ワクチン	48	49	△ 0	△ 1.7
ワクチン合計	409	389	+ 19	+ 5.1
重点品・ワクチン合計	2,232	2,160	+ 72	+ 3.3

# VLPワクチン（MT-2271）の米国における開発計画の変更

Open Up the Future



## および減損損失（非経常項目）発生について

- 4月28日に当社ニュースリリースにて公表しましたとおり、連結子会社であるメディカゴ社が開発中の季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチン（MT-2271）について、第3相臨床試験の結果を踏まえて、米国での開発計画を変更することを決定しました。
- 成人臨床試験では主要評価項目の成功基準を満たさなかったものの、プラセボより優位なインフルエンザ発症抑制効果を確認し、高齢者臨床試験では対照薬（鶏卵ワクチン）との非劣性を示し、主要評価項目の成功基準を満たし、メディカゴ社が米国FDAと協議を行ってきましたが更に追加の臨床試験の実施を求められたため、米国でのMT-2271の承認申請を行わないことを決定しました。
- 当社は、米国での開発計画の変更にともない、MT-2271に係る無形資産（仕掛研究開発費）の約240億円を減損損失（非経常項目）として、2020年3月期決算において計上しました。
- 臨床試験ではプラセボや対照薬（鶏卵ワクチン）との比較において一定の有効性が確認できており、植物由来VLPプラットフォーム技術のメリットを勘案し、現行の製剤よりもさらに有効性を向上させる改良を行うべく、アジュバント※を加えた季節性インフルエンザワクチンの開発について、新たに検討を開始しました。

※ アジュバント：医薬品の効果を高めたり補助したりする目的で併用される物質で、ワクチンとともに投与することで免疫原性を高めることが期待されます。 36

# 主な開発パイプライン

## 2019年度の進捗と2020年度予定

### グローバル開発品

治験コード	適応症	開発段階	2019年度の進捗 / 2020年度の予定
MT-1186	筋萎縮性側索硬化症：ALS	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年11月にグローバルP3試験（長期安全性試験）を開始</li> </ul>
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年8月にグローバルP3試験（BouNDless試験）を開始</li> <li>2019年10月に長期安全性試験（BeyoND試験）の1年投与評価を終了</li> </ul>
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度にPOCを取得。2020年度にP3試験を開始予定</li> </ul>
MT-2990	子宮内膜症	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度にP2試験を完了予定</li> </ul>
MT-8554	更年期に伴う血管運動神経症状	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>P3試験準備中。アライアンス活動を継続</li> </ul>
MT-3921	脊髄損傷	P1	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度にP1試験結果を取得。2020年4月にP1b試験（患者対象試験）を開始</li> </ul>

### 国内 後期開発品

MT-6548	腎性貧血	申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年7月に国内申請を実施。2020年度上市予定</li> </ul>
MT-0551	視神経脊髄炎関連疾患：NMOSD	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年10月にビエラ・バイオ（米）から導入。2020年度に国内申請を予定</li> </ul>

### 計画変更

MT-2271	季節性インフルエンザの予防	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年4月に米国での開発中止※を決定</li> <li>※今後は、アジュバント製剤でのVLPワクチン開発を検討</li> </ul>
---------	---------------	----	---

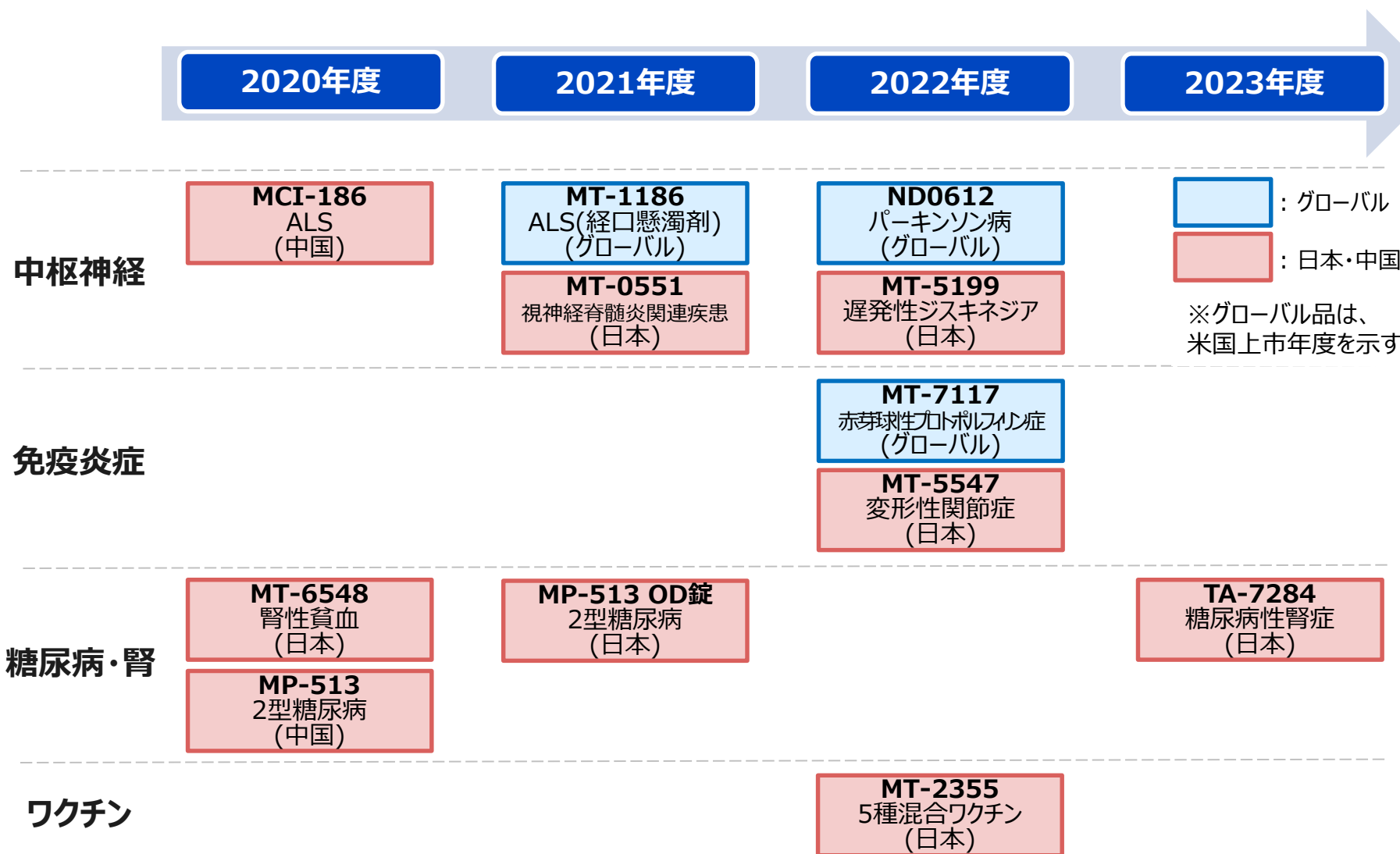
# 主な開発パイプライン一覧

2020年4月30日現在

重点領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-8554	グローバル	更年期に伴う血管運動神経症状			準備中		
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎関連疾患				準備中	
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症			準備中		
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
糖尿病・腎	MT-3995	グローバル	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)					
	MT-6548	日本	腎性貧血					
	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					
	MP-513	中国	2型糖尿病					
ワクチン	MT-2355	日本	5種混合ワクチン*					

\* 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

# 主な開発パイプラインの上市計画



## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。



本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情電・ディスプレイ関連製品、高機能成形材料、高機能ポリマー、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。

但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

以上